

# 【 学校法人松徳学園 東京ファッション専門学校 コンセプト・チャート 】

## < 独自性・学校の魅力 >

- 真の少人数制で、服やきものを作る技術・知識が確実に身につく
- ものづくりを大切にする松屋の学校
- 家族的な雰囲気、面倒見の良い学校

PAST これまで

## < 建学の精神 >

1913年：裁縫の技術と共に婦徳(女性としての徳義)も修得させ、立派な女性に育てよう  
1985年：産業界に直結した実学的教育を進める

- ・ 創立 = 1913(大正2) 年
- ・ 校名変更と大幅リニューアル = 1985(昭和60)年

PRESENT 現在

## < ミッション >

- 服飾文化の継承と創造への寄与
- 創造力を持った健全な社会人の育成

## < 教育目的 > ファッションという語には「きもの」も含む

ファッションを通して自己実現できる人材の育成

## < 育てたい人材 >

- ファッションやきもの現場で即戦力となる人材
- 服飾文化を通して、社会に貢献する人材
- 多様性を理解し、国際的センスを身につけた人材

FUTURE 未来

## < 学校の将来像 >

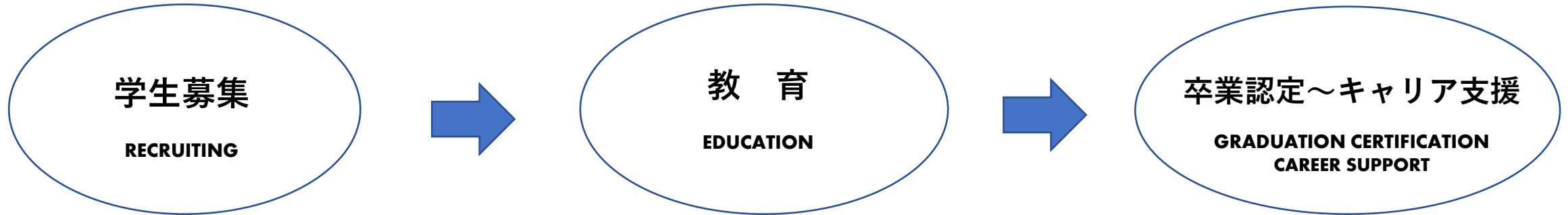
ミッションや教育目的を見失わず、しかしながら、時代の要請に応じて変化し、進化し続ける学校

教育方針

POLICY

(別紙)

## 教育方針 POLICY



### アドミッション・ポリシー (入学者受け入れ方針)

- ファッション(きものを含む) への興味・関心がある者
- 勉学、技術習得への意欲を持つ者
- ファッション、きもの関係の仕事に就くことを目指す者

*Admission  
Policy*

### カリキュラム・ポリシー (教育方針)

- 国際的な服飾文化創造への寄与を大きな目標とする
- 造形の3要素である「形/色(柄も含む)/素材」をしっかりと教え込む
- 服作りの基本をよく理解している技術者を育てる
- 「人間の心と手がファッションの核」という信念に基づいた教育

*Curriculum  
Policy*

### ディプロマ・ポリシー (卒業認定・専門士授与の方針)

- 服飾(きもの)分野の基本的知識と技術を習得し、それらを通して社会に貢献できる
- 社会人として必要なマナー、コミュニケーション能力を身につけている
- 異なる背景を持つ人を尊重し、自分以外の価値観を認めつつ共働できる

*Diploma  
Policy*